

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和5年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
 - <研究主題>
 - <重点教科等>
 - <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ
 - (2) 取組内容
 - (3) 成果
- など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 22学級 校長 森 寿義
生徒数 676人 教頭 市村 耕治



- <教育目標>
目標を持ち、努力する生徒
- <研究主題>
自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
- <重点教科等>
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) 生徒の目指す学校（スローガン）「あ・か・つ・き」の実践
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を きり開く（向上）
(2) 取組内容
① 「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導
② 「いまをたくましく生きる」ための生徒指導
③ 幼保小中を一貫した教育の推進
④ 地域とともにある学校づくりの推進
⑤ 「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実
⑥ 多面的・多角的に考える生徒を育む道德教育の推進
⑦ インクルーシブ教育の視点をもつ特別支援教育の充実
⑧ 「いまをたくましく生きる」ための進路指導の推進
(3) 成果
○生徒一人ひとりが向上心を持ち、共に協力し合う学校が醸成されている。
○基礎・基本の定着・部活動の活躍など文武両道を実践している。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 16学級 校長 大野 正浩
生徒数 489人 教頭 綿貫 稔



- <教育目標>
自ら学び考え行動する生徒（知）
豊かな心を持ち思いやりのある生徒（徳）
健康でたくましい生徒（体）
- <研究主題>
互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
～自己肯定感を高め、自己有用感を実感することができる
学びの充実を通して～
- <重点教科等>
全教科、全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「いいとこ探しの栄中学校」
【さ】爽やかなあいさつ 【か】輝く笑顔 【え】英気あふれる
(2) 取組内容
① 各教科の基礎・基本の定着及び確かな学力の向上
・補充学習 ・言語活動の充実 ・ICT機器の活用
・主体的・対話的で深い学びの確立に向けた授業改善
② 生徒指導の充実
・あいさつ ・言葉づかい ・規範意識 ・授業態度
③ 学校行事の充実
・目標の明確化 ・体験活動の推進 ・ボランティア活動
④ 環境教育の充実
・清掃活動 ・緑化活動 ・リサイクル活動 ・さかえ農園
⑤ 豊かな心の育成
・いじめ、暴力の根絶 ・人権、命の尊重 ・道德教育
(3) 成果
○幼保小中を一貫した教育の推進により、「学力向上プラン」の質が高まり、各種調査結果でも向上が見られた。ボランティア活動への積極的な参加で、学校・家庭・地域との協同が推進できた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 20学級 校長 本間 錦一
生徒数 633人 教頭 清水 孝一



- <教育目標>
学び合う生徒（知） 思いやる生徒（徳） 高め合う生徒（体）
- <研究主題>
共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
ー自己肯定感・自己有用感の育成を柱としてー
- <重点教科等>
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ（学校経営方針）
・生徒の学びを大切にする学校（よりよい授業づくり）
・生徒一人ひとりが大切にされる温かな学校（よりよい学級づくり）
・地域に感謝し、貢献する誠実な学校（よりよい地域づくり）
(2) 取組内容
① 個に応じた適切な対応
・不登校生徒への積極的な対応（未然防止、初期対応、自立支援）
・特別支援教育コーディネーターを中心とした配慮を要する生徒に対する指導の推進及び教育相談部を中心とした校内研修の推進
・生徒の特性に合わせた教育措置（特別支援学級での体験入級等）
② 豊かな心の育成（道德教育の充実）
・ローテーション授業の導入による道德教育の質的向上
・道德的価値の理解を自分自身との関わりの中で深められる心の醸成
・教科、領域をとおして自己肯定感を高める活動の推進
③ 確かな学力（学力の向上）
・学力中間層を伸ばす活動の工夫
・「話し合いマニュアル」を活用した主体的・対話的で深い学びの実践
④ 幼保小中を一貫した教育の推進
・小中間で読書活動推進研究の実施
⑤ 地域とともにある学校づくりの推進
・学校運営協議会において、学校経営、目指す学校像、重点目標、学習支援について協議し、ねらいについて共有する。
(3) 成果
○生徒が互いに認め合い、尊重し、差別することなく共に活動することができるようになってきた。また、生徒会活動も盛んに行われるようになった。
○個に応じた適切な対応では、教職員とさわやか相談員、学習支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の関係も密に取り、適切、組織的に行われるようになった。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 13学級 校長 及川 祐一
生徒数 369人 教頭 高橋 恒太



<教育目標>
賢く 優しく 逞しく

<研究主題>
自己肯定感・自己有用感を高められる生徒の育成
～わかる・できる・楽しいと生徒が実感できる授業を通して～

<重点教科等>
全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
自ら学び、心豊かで、逞しく生きる生徒と、それを支える教育愛に満ちた教職員が集う、保護者・地域とともにある学校

(2) 取組内容

① 「主体的・対話的で深い学び」の視点の授業改善と学習習慣の確立による学力の向上

- ・「授業の5か条」「学びの5か条」をもとにして、学校組織全体で授業改善を図る。
- ・ICT機器やICT支援員の活用を図り、効果的に活用する。

② 生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成

- ・全教職員の共通理解に基づいた校内生徒指導体制を確立し、校内規律・授業規律（授業規律の5原則）を徹底し、生徒の望ましい生活習慣を育成する。

(3) 成果

- 全校生徒が落ち着いた学校生活を送っている。
- 学校評価や振り返り・アンケート等で、『授業の内容がわかる』『意欲的に学習し、学力向上を目指している』と回答している生徒が85%を超えている。
- 学校生活全般にわたる「自己肯定感の向上」を目指した取り組みが主体的な活動姿勢につながっており、『学校生活が楽しい』という評価が90%を超えている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 22学級 校長 諏訪 太介
生徒数 674人 教頭 江口 和彦



<教育目標>
自ら学ぶ生徒 ～意欲的な学習・学力向上・進路実現～
思いやりのある生徒 ～人の気持ちが分かる生徒～
健康でたくましい生徒 ～規則正しい生活と心身の健康～
正しい行動のできる生徒 ～規律を守り行動に責任をもつ～

<研究主題>
夢や希望を持ち、学び続ける子どもの育成
～主体的に学びに向かう力の育成を通して～

<重点教科等>
全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
生徒も教師も「居心地のよい明るく活力のある新栄中学校」

(2) 取組内容

① 学習指導
これからの社会で求められる資質・能力の育成

② 学年・学級経営
一人ひとりのよさを定めた承認、激励による生徒との信頼関係の構築

③ 生徒指導・教育相談
一人ひとりの健全な成長を促し、生徒自らの自己実現を図るための自己指導能力の育成を目指す生徒指導、生徒指導の一環として、生徒の抱える課題解決のための支援を行う教育相談

④ 生徒会活動
生徒の学校生活の充実・発展やその改善・向上に資する自発的、自治的活動

⑤ 特別支援教育
一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援とインクルーシブ教育システムの構築

(3) 成果

- 学校行事や部活動、授業などの学習活動を通して、生徒の自己肯定感・自己有用感が育ってきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 20学級 校長 小野 陽子
生徒数 643人 教頭 神田 研二郎



<教育目標>
自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」
「ま」・・・学び続ける生徒
「つ」・・・強い体をもつ生徒
「な」・・・仲間を思いやる優しい心をもつ生徒
「み」・・・みんな仲良く笑顔あふれる生徒
「き」・・・希望をもち夢に向かって努力する生徒

<研究主題>
確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成
～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して～

<重点教科等>
全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) ①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃 ④活力ある部活動 ⑤一人ひとりのよさ・違いを認め合う学校

(2) 主な内容

① 幼保小中を一貫した教育に係る交流の推進、小中乗り入れ授業による体育授業交流、他授業見学等

② 生活習慣の定着
【授業の5原則】
・授業の用意をして待つ ・チャイム着席 ・あいさつしっかり ・忘れ物をしない
・むだ話をしない

③ 基礎学力、学習態度の定着
・一人ひとりの学力の伸びの状況把握・一人ひとりに活躍の場面、出番をつくる
・日々の規律と授業を一番大切にすること・ワークシート・小テスト等の内容の工夫等
・少人数、T-T、学習補助員、学習形態の工夫

④ 教育環境の整備
・あいさつ運動（生徒・職員・保護者での愛の一声運動）、ボランティア活動（高齢者運動会）、瀬中宣言にもとづく生徒会と専門委員会活動、放課後の無言清掃

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 13学級 校長 笠井 誠司
生徒数 378人 教頭 橋本 哲



<教育目標>
自ら考え、心豊かに、たくましく生きる
学力を伸ばす生徒（知）
豊かな心を育てる生徒（徳）
心身共に健康な生徒（体）

<研究主題>
「自ら考えを深め、よりよく学びあう子どもの育成」
～学級力・授業力の向上を目指して～

<重点教科等>
全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「信頼」と「和」に基づく教育の推進

○生徒同士の「和」
○生徒と教師の「信頼関係」
○保護者と教師との「信頼」と「協力」
○職員間の「和」と「協働」
○地域とともにある学校

(2) 取組内容 幼保小中を一貫した教育の推進
○「学力を伸ばす生徒」を育成する授業改善
自ら考え、よりよく学びあう子どもの育成（授業力の向上）
主体的・対話的で深い学びの追究（草加っ子の学びを支える授業の5か条）
○「豊かな心を育てる生徒」を育成する活動の充実
学年・学級経営の充実（学級力の充実）
生徒会活動・学校行事の充実（主体的な取組をととして子どもの心を育てる）
○「心身共に健康な生徒」を育成する生徒指導・特別支援教育の推進
生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
配慮を要する生徒への理解と支援
○幼保小中を一貫した教育の研究と実践
小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
子どもたちのための「草加市教育委員会委嘱研究」の推進
○地域とともにある学校づくりの推進
学校運営協議会を中心としたコミュニティスクールの実施

(3) 成果
○生徒たちは主体的に活動し、豊かな心を育んでいる。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16学級 校長 上野 雅祥
 生徒数 510人 教頭 矢野 博之



<教育目標>

【自ら学び 心豊かに たくましく】

- 自ら学び (知)
 - ・自分の考えをもつ ・正しく判断し行動する ・目標をもち努力する
 - ・基礎的、基本的な知識や技能を必要に応じて柔軟に活用できる
- 心豊かに (徳)
 - ・互いの良さや努力を認め合う ・態度や行動に示し主体的な実践をする
 - ・多くの人に支えられていることを自覚し、他の人に思いやりをもって親切にできる
- たくましく (体)
 - ・困難を克服する力や健やかな体を目指す 規則正しい生活習慣確立
 - ・体力向上に努め、あきらめず、粘り強く、物事に取り組む

<研究主題>

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成
 ～「わかる・できる」学びと「ともに楽しい」学び～

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

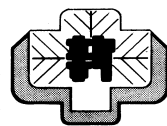
- (1) 生徒一人ひとりに基礎基本を定着させる
～生徒理解に基づく指導と評価の実践～
- (2) 生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出す
～生徒に内在するものを引き出す教育力～
- (3) 生徒一人ひとりの命と健康を守る
～共助の学びと絆づくり、安全、安心な学校～

<成果>

○令和4年度に実施した学校評価（保護者）の「学校は一人ひとりの生徒を大切にしている」の達成度は81.2%、「学校は子どものことについて家庭と連携をとっている」は82.3%と高い評価を得ることができ、学校と保護者が連携を図りながら一人ひとりの生徒を大切にした指導を行うことができた。また、「子どもは楽しく学校に行っている」は91.2%「子どもはルールや約束を守って生活している」は93.9%と、高い達成度を得ることができ、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 16学級 校長 遠藤 淳一
 生徒数 437人 教頭 渡辺 真一



<教育目標>

豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒

<研究主題>

主体的・対話的で深い学びの実現、社会に開かれた教育課程の実現
 ～学びの生活化・社会化～

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

- 1 めざす学校像
大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
- 2 取組内容
 - (1) 学ぶ意欲が向上する学校
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの追求
 - ・ 基礎・基本の習得と活用
 - ・ 一人ひとりのフォローアップの充実
 - (2) 豊かな心が育成する学校
 - ・ 美しい教育環境が整った学校を教職員と生徒で創造 ・読書活動の充実
 - ・ 特別の教科 道徳の授業の充実 ・特別活動の充実
 - (3) 心身が健康でたくましい生徒を育成する学校
 - ・ 保健体育・性教育・安全教育・防災教育の推進
 - ・ 生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実
 - ・ 不登校の減少の取組 ◎体育授業、部活動での体力向上
 - (4) 中学校区の幼保小中が連携した学校
 - ・ 幼保小中を一貫した教育下での研究推進
 - ・ ペアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動
 - ・ 幼保小中を一貫した授業研究の実施
 - ・ 地域懇談会・学校運営協議会の充実した運営
- 3 成果

○様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心が一層育まれてきている。また、多くの生徒に自主性が育まれ、生徒一人ひとりが自己存在感・自己有用感を感じてきている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
 学級数 17学級 校長 鈴木 英治
 生徒数 527人 教頭 平野 修



<教育目標>

自ら考え実践する生徒（知）
 心豊かで思いやりのある生徒（徳）
 健康でたくましい生徒（体）

<研究主題>

学ぶ喜びを味わわせる授業の創造
 ～学級経営を基盤として～

<重点教科等>

特別活動・生徒指導・教育相談の充実

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」
自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒
- (2) 取組内容
 - ① 自ら考え実践する生徒を育成する授業改善
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの追求
 - ② 心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実
 - ・ 生徒会活動・学校行事の充実
 - ③ 健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進
 - ・ 生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
 - ④ 幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 - ・ 小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
 - ⑤ 地域とともにある学校づくりの推進
 - ・ 学校運営協議会を中心としたコミュニティースクールの実施
- (3) 成果
 - 基礎基本の定着により、深い学びにつなげることができた。
 - 行動規範が身に付き、コミュニケーションを良好に保つことができた。
 - 部活動に積極的に参加することで心身の健全な発達が図られた。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
 学級数 14学級 校長 須賀 達也
 生徒数 442人 教頭 宮本 雅章



<教育目標>

ま： 学ぶ意欲のある生徒 < かしこさ >
 つ： 強い心と体をもつ生徒 < たくましさ >
 え： 笑顔あふれる生徒 < あたたかさ >

<研究主題>

自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
 ～各教科の指導と評価の一体化を通して～

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
子どもが誇りのもてる学校に ～『松中プライド』の育成を～
- (2) 取組内容
 - ① 子どもへ達成感と充実感
 - ・ 教師一人ひとりの授業力の向上
 - ・ 集団活動を通した豊かな人間性の育成
 - ② 子どもの居場所づくり
 - ・ 共感的な人間関係の育成
 - ・ 教育環境の整備
 - ③ 「幼保小中を一貫した教育」の推進
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の研究推進
 - ・ 交流活動の充実
- (3) 成果
 - 達成感と充実感を味わわせる授業を行うことで、子供たちの学力が確実に伸びている。
 - 「共感的理解」を大切にしなが授業や学校行事等を充実させることで、子供たちが楽しく学校生活を送っている。
 - 松江中学校区の幼稚園、保育園、小学校さらには保護者・地域の方々との連携を深めることで、着実に「松中プライド」が育成されている。

